

福山民報

発行
福山民報社
福山市津之郷町
津之郷 970-1
TEL.084-952-2662
FAX.084-952-2660



核兵器禁止条約に 日本も参加を！

国民平和大行進 福山に



「ここまで歩いてきました。」と平和行進に込めた自身の思いを語りました。

広島県の行進団には、日本共産党の大平よしのが元衆院議員、河村ひろ子県議、清原だいき医療・介護対策委員長も参加し、福山市役所までの約10kmを歩きました。

27日は福山市役所を出発し、松永駅まで1日かけて歩きます。日本共産党の高木たけし市議が参加しました。

の通り行進者、村上厚子さんが「広島サミットでは本当に被爆者、市民、世界から大きな怒りが沸き起こりました。この怒りが私の行進の力となりました。核兵器を無くそう、人類は核兵器と共存はできない、この思いで、沿道に呼び掛け、

7月26日、今年で66回目の「原水爆禁止・国民平和大行進」が福山市に到着しました。東京から広島島の平和記念公園まで、各地をリレーします。大門町の公園で多くの市民が出迎え、岡山県で行進団から横断幕を引き継ぎました。引き継ぎ式では、東京から

の通り行進者、村上厚子さんが「広島サミットでは本当に被爆者、市民、世界から大きな怒りが沸き起こりました。この怒りが私の行進の力となりました。核兵器を無くそう、人類は核兵器と共存はできない、この思いで、沿道に呼び掛け、

最多の96人 物価高で苦境

広島県福山、尾道、三原3市の東部学生支援プロジェクトチームが運営する「あおぞら0円（オーエン）市場」が23日に3市でそれぞれ開かれ、学生に食材や日用品などを無償で支援しました。

17回目となる今回も事前

真ん中世代 議員・候補者

本気の子育て政府交渉

大平よしのが中国ブロック比例予定候補と中国5県の真ん中世代（30〜50代）の地方議会議員と候補者で「本気の子育て支援」政府交渉が参議院議員会館で行われました。

広島県出身議員としてみよし剛史市議が参加しました。教育・医療・福祉・保育・労働の分野計24項目、3つの要望書を文科省と厚労省を中心とした所管担当者に提出し、それぞれの要望に対する回答を受け、質疑が行われました。みよし市議は、保育士の配

学生に食料支援

に申し込みを募る予約制とし、過去最高の96人が利用しました。大根やジャガイモ、トウモロコシ、当日朝採れたキュウリやトマトなど夏野菜も用意。福山のフードバンクや「しんぶん赤旗」読者から多くの物資が提供されました。

来場者には、学費や奨学金に関するアンケートをおこないました。対話した学生からは、過酷なバイトの現状を告発する声が寄せられた他、お礼のメールが届きました。

（2023年7月28日付「しんぶん赤旗」から一部転載）

置基準の改善と同時に、せめて全産業平均と同水準の処遇改善を行う必要があることを指摘すると、担当課は「問題は認識している」と答えましたが、「財源が限られている」ということに終始しました。

少子化に歯止めをかけるには様々な子育て世代が抱える生きづらさに根本から向き合う本気の政策が必要です。

しかし、途方もない軍事費が、子育て予算を捻出できない原因となっていることは明らかです。

戦争の準備ではなく、まずは未来のための子育て予算こそ必要です。若い世代、現役世代の声を届け、政治に反映させる取り組みが展開されています。



担当者交渉するみよし市議と大平よしのが元衆議院議員